

卒業生の就業先調査 結果

調査対象者

令和2年度の本学介護福祉学科卒業生を採用した法人及び施設等の施設長、人事課長（19施設・事業所）

調査期間

令和3年12月から令和4年1月

調査票回収数・回収率

回収数 19通（施設・事業所）

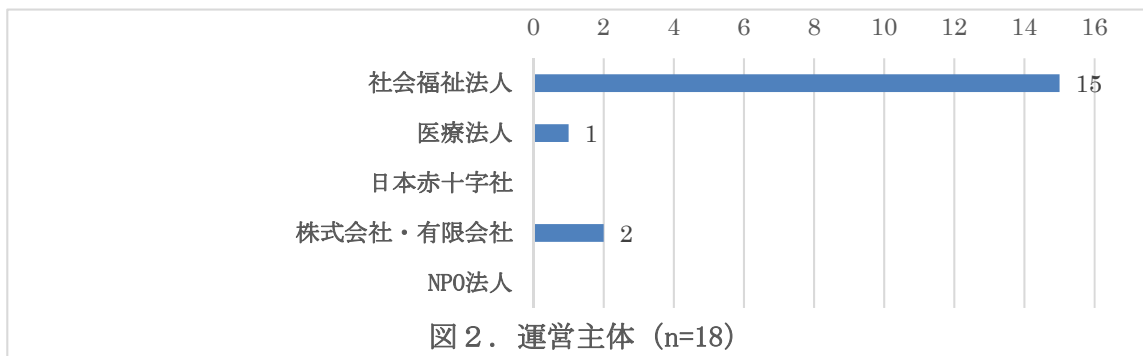
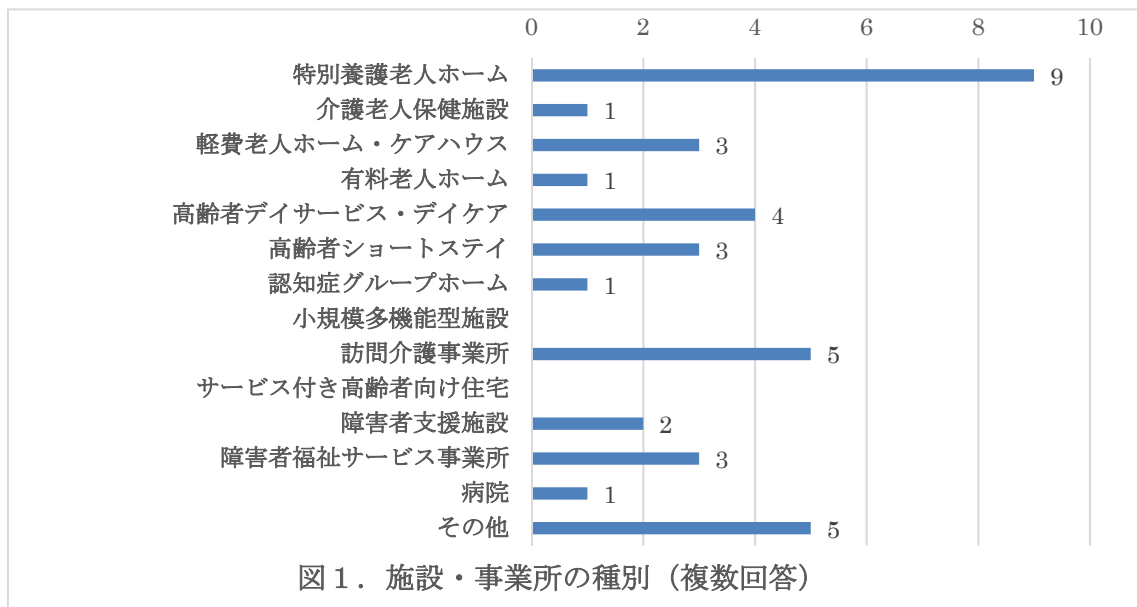
回収率 100.0%

なお、1通は全項目無記入であったため18通を分析対象とした。

1. 施設・事業所の属性

施設・事業所の種別は、特別養護老人ホームが最も多く（9件）、次いで訪問介護事業所5件、高齢者デイサービス・デイケア4件の順であった。

施設・事業所の運営主体は、社会福祉法人が最も多く（15件）、次いで株式会社・有限会社（2件）であった。



2. 卒業生の雇用状況

令和2年12月現在で勤務している本学卒業生の職種について回答を得た。

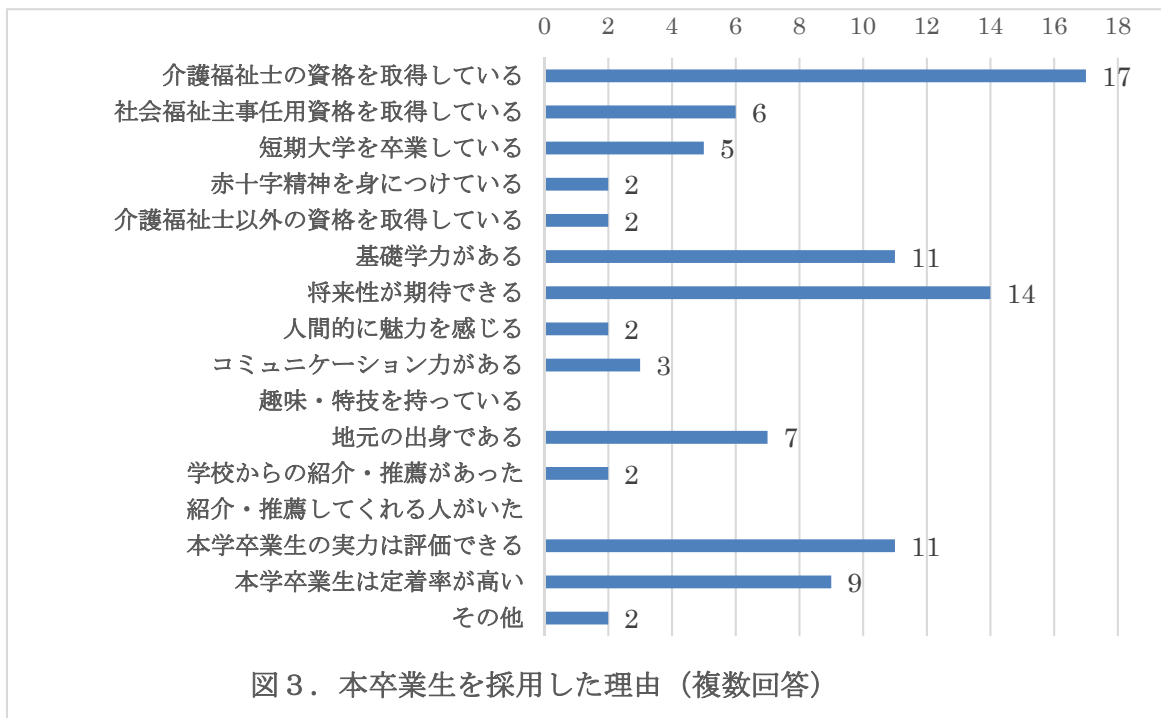
最も多かった職種はケアワーカー(介護職)41名、次いでソーシャルワーカー(相談職)2名であった。

職 種	男性	女性	計
ケアワーカー(介護職)	9	32	41
ソーシャルワーカー(相談職)	0	2	2
その他(看護師)	0	1	1
計	9	35	44

3. 採用理由(複数回答)

★上位5位までは前年度と同様

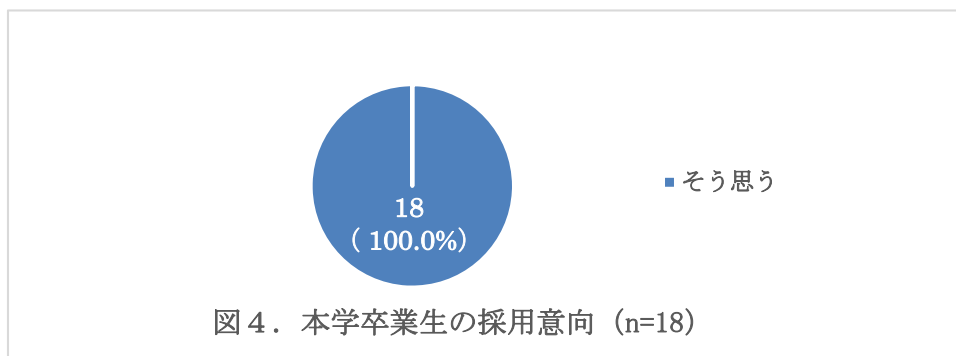
本学卒業生を採用した理由として最も多くあげられたものは「介護福祉士の資格を取得している」(17件)であった。次いで、「将来性が期待できる」(14件)、「本学卒業生の実力は評価できる」(11件)、「基礎学力がある」(11件)、「本学卒業生は定着率が高い」(9件)と続いた。



4. 今後の採用意向

★前回調査においても「そう思う」100%

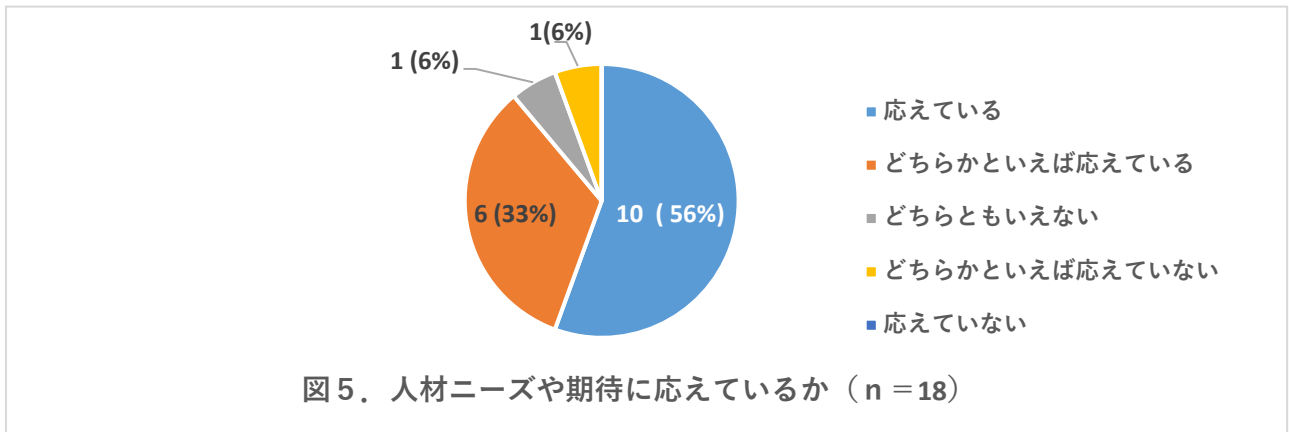
「今後も本学卒業生を採用したいと思うか」という質問に対し、「そう思う」18件(100%)であった。



5. 卒業生のへの評価

★前回調査より低い傾向。前回調査では「応えている」81.8%、「どちらかといえば応えている」18.2%

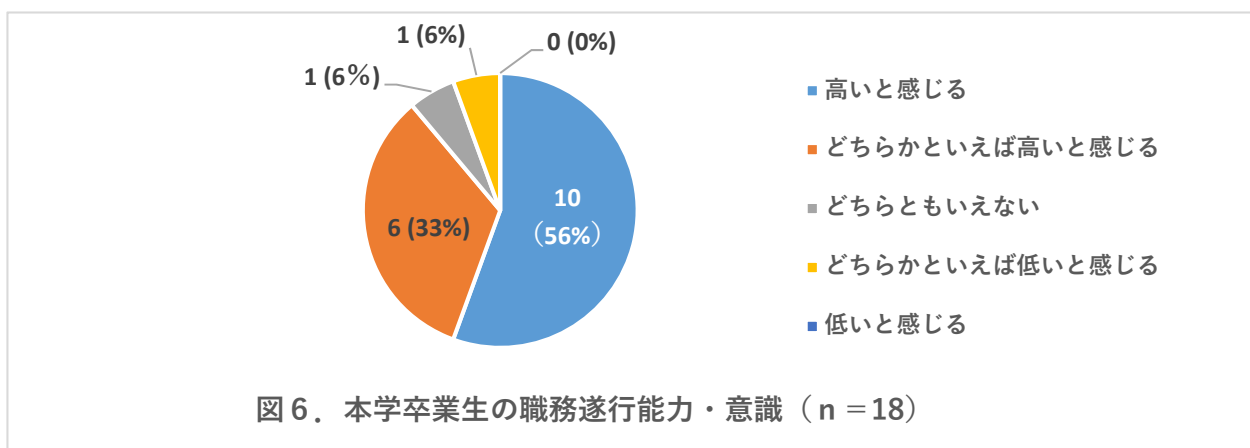
「本学卒業生が施設・事業所が求める人材ニーズや期待に応えているか」という質問に対し、「応えている」が10件(56.0%)、「どちらかといえば応えている」が6件(33.0%)、「どちらともいえない」と「どちらかといえば応えていない」がそれぞれ1件(6%)であった。



6. 職務遂行能力

★前回調査より低い傾向。前回調査では「高いと感じる」が81.8%、「どちらかといえば高いと感じる」が18.2%

本学卒業生の職務を遂行する能力や意識の水準については、「高いと感じる」10件(56.0%)、「どちらかといえば高いと感じる」6件(33.0%)、「どちらともいえない」と「どちらかといえば低いと感じる」がそれぞれ1件(6%)であった。



★「社会常識」「基礎能力」「共感できる感性」「専門知識・技術」は前回同様に高い。「倫理観」は前回より高い。

「リーダーシップ」「問題解決力」は前回と同様に低い。「仕事に積極的に取り組む姿勢」「自己研鑽」「コミュニケーション能力」「チームワーク力」は前回より低い。

7. 卒業生が身に着けている能力

本学卒業生が、図7に示した能力等(16項目)を身につけているかどうかについて、「(身につけていると思う)」から「(身につけていると)思わない」までの5件法で回答を求めた。

「思う」という回答が最も多かった項目が「身だしなみや言葉遣いなどの社会常識」と「基礎的知識や基礎能力」で8件(44.4%)、次いで「人間の尊厳を守ろうとする倫理観がある」7件(38.9%)であった。

「思う」「やや思う」を合わせて最も多かった項目が「人の痛みや苦しみに共感できる感性」16件(88.9%)、次いで「基礎的知識や基礎能力」「人間の尊厳を守ろうとする倫理観」「専門的知識・技術」各15件(83.3%)であった。

一方で「思わない」との回答があった項目は、「チームワークや健全な人間関係を築く力」2件(11.1%)、「協調性、コミュニケーション能力がある」「リーダーシップ、指導力がある」各1件(5.6%)であった。

「思わない」「あまり思わない」を合わせて最も多かった項目が「リーダーシップ、指導力がある」4件(22.2%)、「人々の生活、社会への関心を持てる力がある」「問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力が高い」が各3件(16.7%)であった。

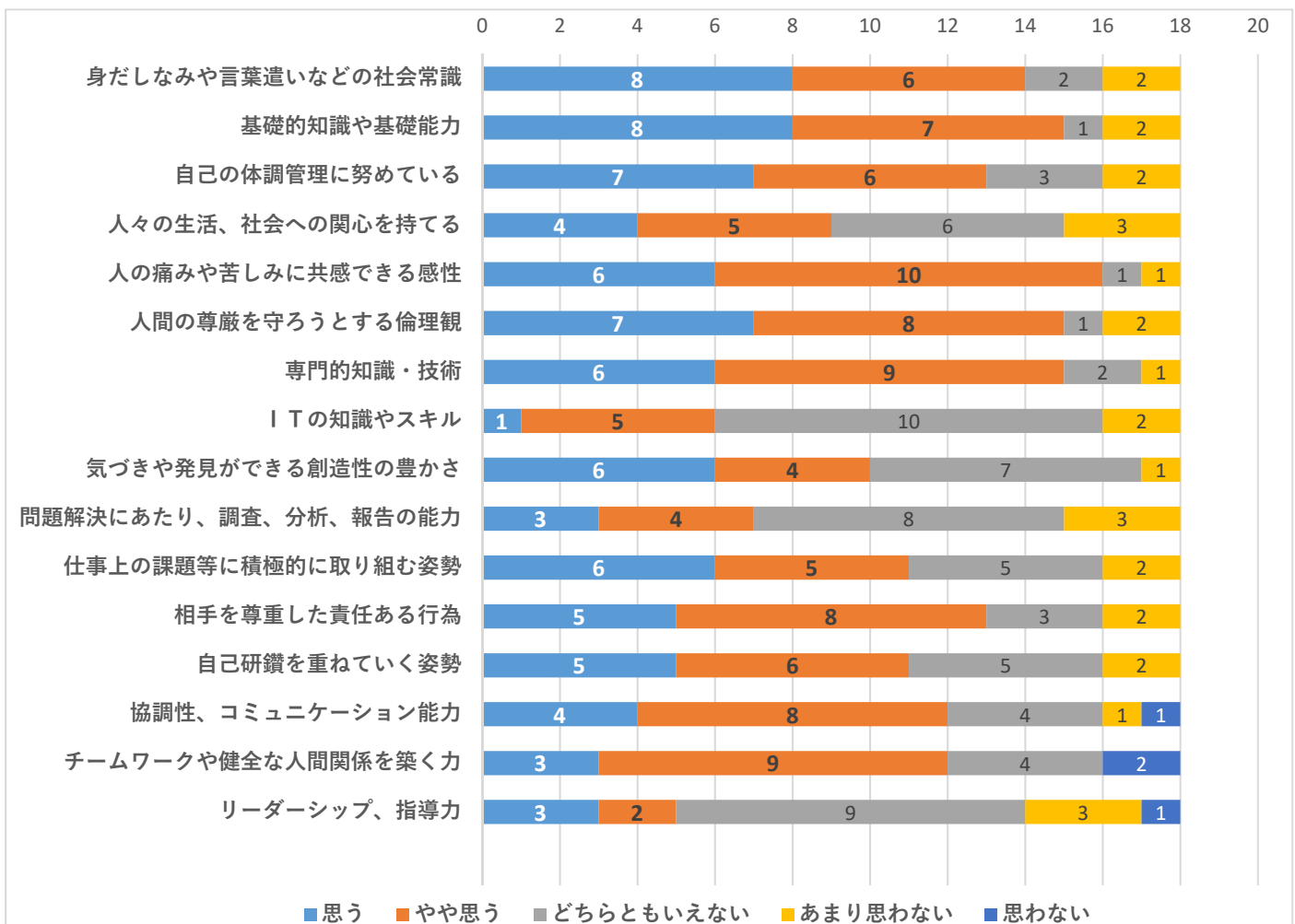


図7. 本学卒業生が身につけていると思う能力 (n=18)

8. 施設・事業所における重要の度合い

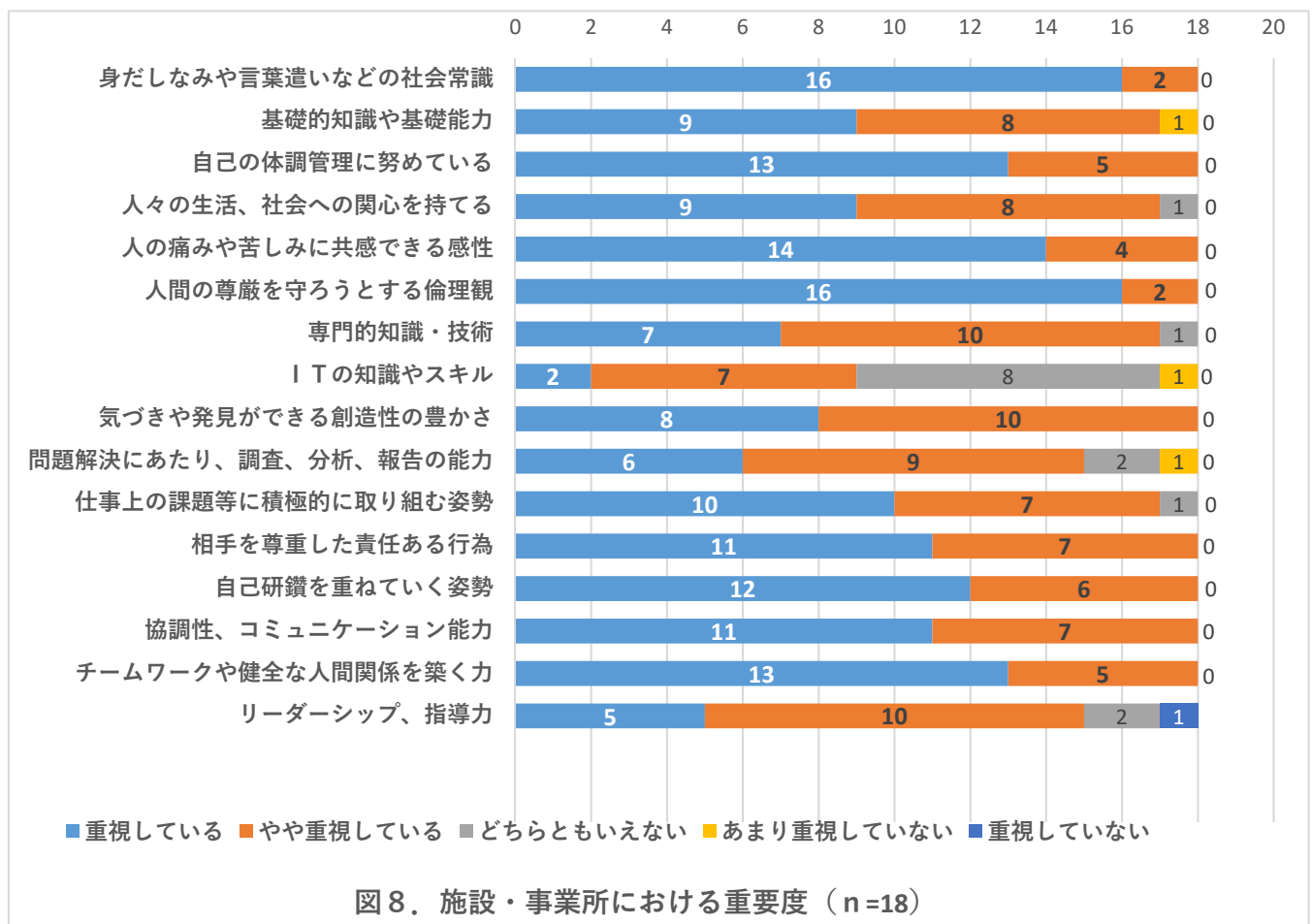
★「倫理観」「身だしなみ」「体調管理」「チームワーク」の重要度が高い点は前回同様。「共感できる感性」の重要度が前回より上昇。「IT知識技術」の重要度が低い点は前回同様。

前述の16項目の能力等を各施設・事業所がどの程度重要視しているのかについて、「重視している」から「重視していない」までの5件法で回答を求めた。

「重視している」が最も多い項目は「身だしなみや言葉遣いなどの社会常識」、「人間の尊厳を守ろうとする倫理観」16件（88.9%）、次いで「人の痛みや苦しみに共感できる感性」14件（77.8%）、「自己の体調管理」、「チームワークや健全な人間関係を築く力」13件（72.2%）であった。

「重視している」と「やや重視している」とを合わせた回答が80%以上であった項目がほとんどであったが、比較的低かった項目は「ITの知識やスキル」9件（50.5%）であった。

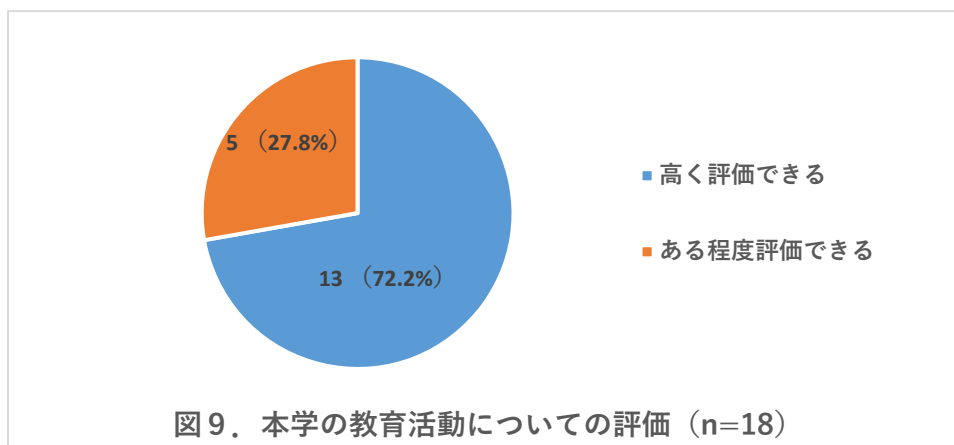
『7. 本学卒業生が身に着けていると思う能力』の回答（図7）と見比べると、「専門的知識・技術」、「ITの知識やスキル」以外のほとんどの項目において、施設・事業所側の期待に十分に答えることができていないことが読み取れる。



9. 本学の教育活動について

★新設項目のため前回調査との比較なし

本学の教育活動についてどのように感じるかについて回答を求めたところ、「高く評価できる」13件(72.2%)、「ある程度評価できる」5件(27.8%)であった。(図9)



上記のように感じる理由について自由記述にて尋ねたところ、「高く評価できる」では13件中の11件から、「ある程度評価できる」では5件中の3件から回答があった。

1) 「高く評価できる」理由

・就職ガイダンス開催時の学生さんの臨む姿勢が素晴らしいため
・これまでも複数の職員を貴学から採用させていただいている。総じて能力が高く、将来が期待できる。貴学の人間性を向上させ、知識を高める実習プログラムの高さを感じている。
・福祉職員としての基本的な倫理観を身につけている
・介護現場視点による教育と指導を行っている
・将来期待できる人材を育成されている
・基本となる社会常識、基礎的知識が身につけられている
・介護福祉士養成施設としての実績や卒業された学生の活躍は高く評価できると感じる
・同じユニットのサブリーダーも貴校の卒業生で、その下でがんばってもらっている。1年目ではあるが、落ち着いていて冷静にきちんとして業務ができており、とても助かっています。先輩もとても良い人材ですし、今後ともよろしく願います。
・卒業生の姿を見て高く評価しています。
・貴校を卒業された職員の知識や技術は、利用者が安心して介護を受けられるスキルを持っていると思います。また実習の取り組み内容から評価できるものと感じます。
・2名ご紹介いただき、大変助かっております。知識や能力もあり、コミュニケーション能力もあり、今後リーダーになり、力を出して頂けると思っております。今年度もご紹介よろしく願ひ申し上げます。

2) 「ある程度評価できる」理由

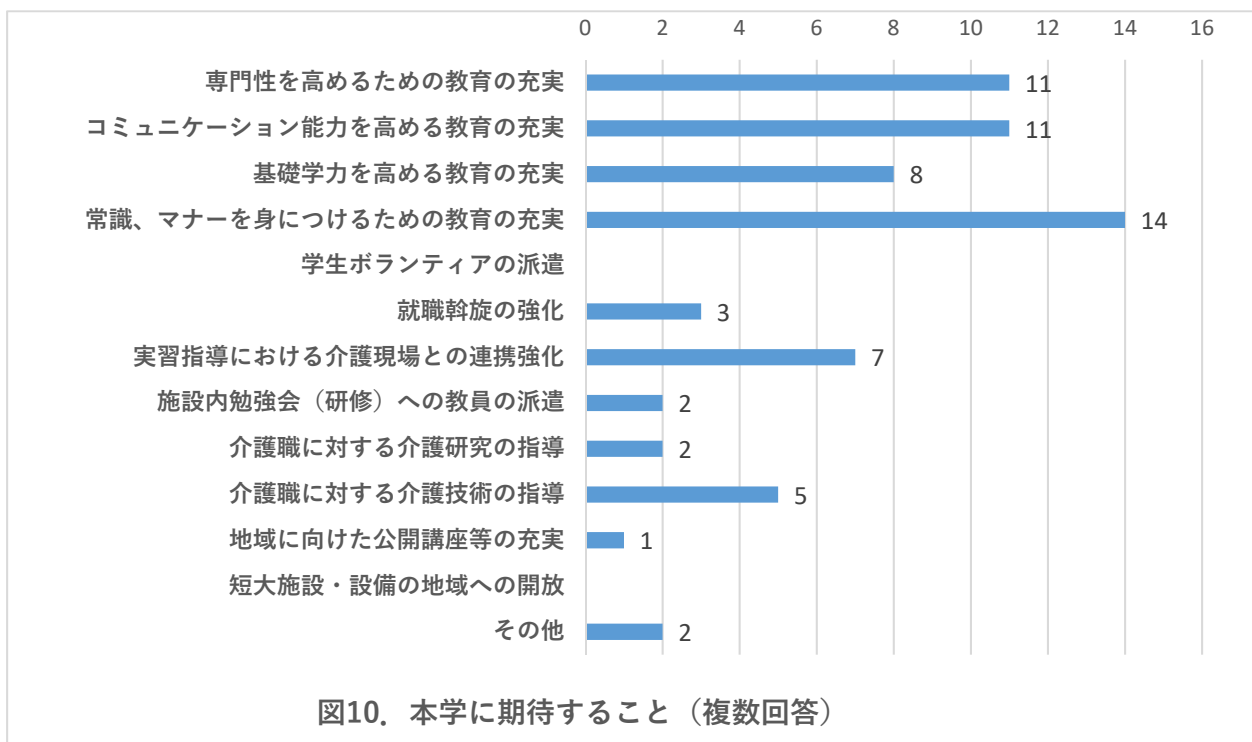
・学生の進路を見すえた教育活動
・生徒一人一人に合わせて学び方を工夫している様子が感じられます。
・大半の者が知識・技術の習得力が高く、即戦力となっており、中堅から若手の中では将来性を高く評価できる

10. 本学への期待

★上位は同様の傾向。前回調査よりも「就職斡旋の強化」「学生ボランティアの派遣」の割合が減少。

本学への期待について、13項目を設定し、その中から「期待する」項目について複数回答にて回答を得た。さらに、「期待する」項目の中でも「最も期待する」項目について1つ回答を求めた。

本学へ期待することとして最も多く挙げられた項目が「常識、マナーを身につけるための教育の充実」で14件（77.8%）であった。次いで「専門性を高めるための教育の充実」、「コミュニケーション能力を高める教育の充実」各11件（61.1%）、「基礎学力を高める教育の充実」8件（44.4%）であった。（図10）



★前回調査よりも「常識、マナーを身につけるための教育の充実」の割合が増加。

また、「期待する」とした項目の中で「最も期待すること」を1つ選んでもらったところ、一番多かったものは「常識、マナーを身につけるための教育の充実」5件（27.8%）であった。（図11）

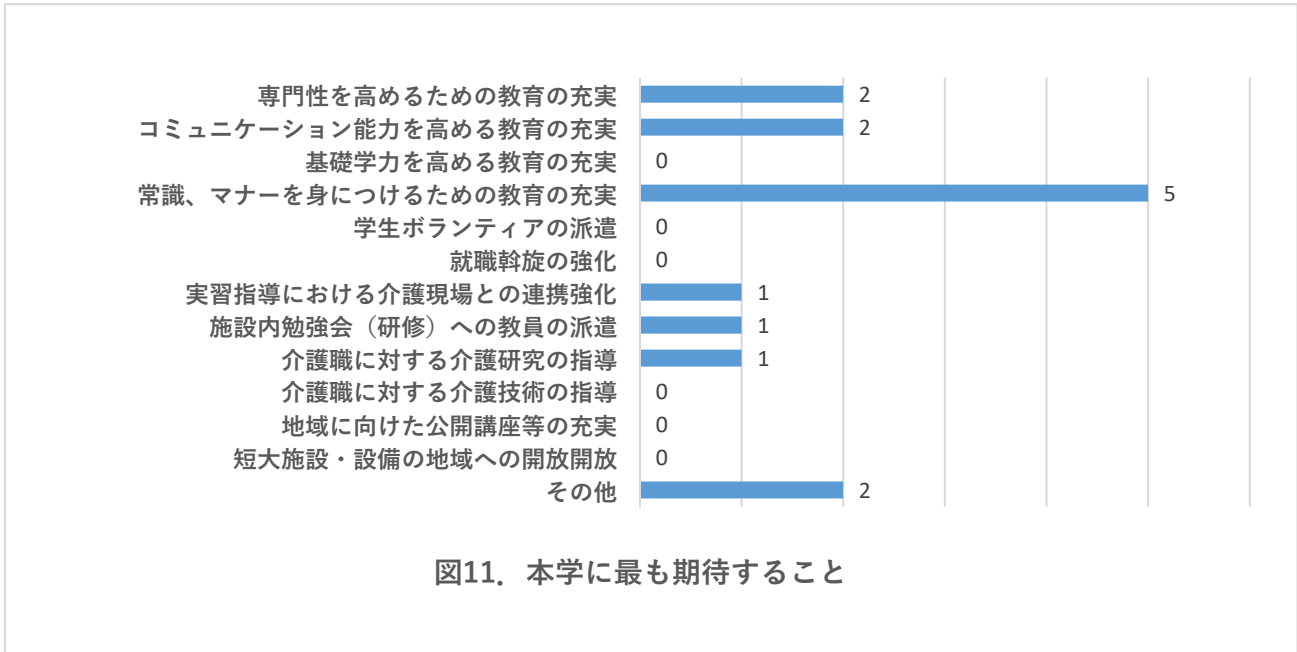


図11. 本学に最も期待すること

図 11 の「その他」2 件の内容

感情コントロールが苦手であり、易怒の傾向にあるため、アンガーマネジメントを学習して欲しい
 当施設によって有能な人材を育成していただき感謝申し上げます。今後益々の貴校のご発展を心よりお祈りいたします。

1 1. 本学への意見・要望

本学への意見・要望について自由記述による回答を求めた結果、5 件の回答があった。

学生数が減ってきているようですが、その中でも人間性をみがぐために教育していただけていることに感謝しております。地域貢献のためにも実習を積極的におひきうけしていますので、ご希望がございましたらいつでもご相談して下さい。

就職先の選択肢として、グループホームも薦めていただきたい。学生の中にはコミュニケーション能力が高い方もいます。認知症ケアの現場では最新のコミュニケーション技法と医学的根拠のもと、ご利用者と向き合いながらケアを提供しております。

学生さんが減少しているようなので、難しい面もあるとは思いますが、毎年貴学からの採用に期待をしております

介護士に求められている中に「介護技術」よりも多職種連携や介護過程等、自分達の中に「根拠」を持ち、それも発信できるような人材が必要になっています。大半の職員は「研究」についてほとんどが未習得であり、ただ「事例検討」を繰り返すだけの、次に発展させる事が出来ていません。是非「事例研究」をご指導して頂きたいと思っております。

貴校を卒業された職員は、優れたスキルを持っていると感じ、このアンケートの実施についても教育が充実していると考えます。今後も当法人・施設に就職していただければと強く願っております。

以上